



『さがそうみらい みんなでつながる アクションプラン ～相模原市不登校総合対策実行計画～』の策定について

本市の不登校対策に関する施策を総合的に推進するため、この度、「さがそうみらい みんなでつながる アクションプラン」を策定しました。

本計画は、「さがみはら子ども・若者応援プラン」と「第2次相模原市教育振興計画」の実行計画として位置付け、市長部局と学校・教育委員会が連携した施策を推進します。

今後は本計画に基づく切れ目ない支援を行い、誰一人取り残さない温かさのある教育を目指します。

【資料】

「さがそうみらい みんなでつながる アクションプラン」の概要

※計画書本文は市ホームページに掲載しています

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kosodate/1026602/kyouiku/1026610/shisaku/1034468.html>

【問い合わせ先】
教育相談課
042-769-6144(直通)

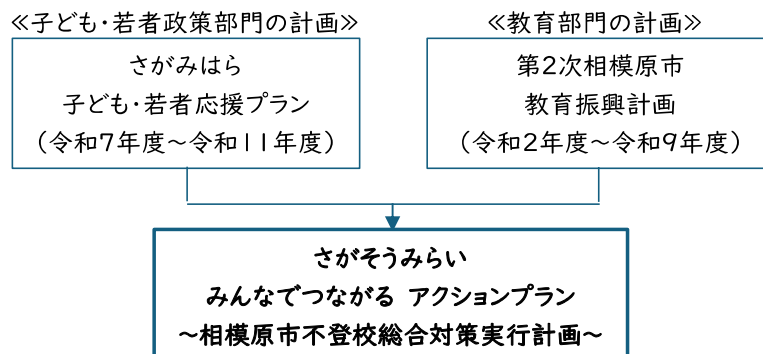
『さがそうみらい みんなでつながる アクションプラン』

～相模原市不登校総合対策実行計画～の概要

策定の趣旨・位置付け・計画期間

《策定の趣旨》

不登校の児童生徒・保護者をはじめとした市民の皆様に対して、市の施策における不登校に係る支援について、体系的に分かりやすく示すとともに、市内の各課・機関において、共通認識を持ち、組織・横断的に不登校対策を推進することを目的とします。



「さがみはら子ども・若者応援プラン」と「第2次相模原市教育振興計画」の実行計画として位置付け、計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

目指す姿と基本方針

《目指す姿》

- ・ 「温かさ」のある支援によって、全ての児童生徒を社会へとつなげる
- ・ 誰一人取り残さず、支援を行き届かせ、よりよい生き方を見つけられるようにする

《基本方針》

- 1 全ての児童生徒が安心して過ごせる、魅力ある温かい学校づくりの推進
- 2 個々の状況に合わせて選択できる、多様な学びの場や居場所の整備
- 3 児童生徒や保護者に寄り添った相談支援の充実
- 4 関係機関との連携強化による、切れ目ない支援体制の構築

構成

第1章 策定に当たって

(策定の背景と趣旨、策定体制、位置付け、計画期間、進行管理)

第2章 不登校の状況

第3章 基本的な考え方

(基本理念、基本方針)

第4章 総合的な施策の展開

(基本方針1～4、成果指標)

事業一覧

附属資料

基本方針における主な取組

1 全ての児童生徒が安心して過ごせる、魅力ある温かい学校づくりの推進

- 全ての児童生徒にとって、学校や学級を魅力ある温かい場所にします

- ⑧ ポジティブ行動支援の推進
- ⑧ 学校生活支援員(学校サポーター)の配置
- ⑧ 教職員の資質向上に向けた研修の充実

- 誰一人取り残さない学びを保障します

- ⑨ 5歳児健康診査事業の実施(令和8年度から実施予定)
- ⑧ 通級指導教室の拡充
 - 幼保小連携推進事業の実施
 - 学力保障推進事業の実施
 - キャリア教育・小中一貫教育推進事業の実施

2 個々の状況に合わせて選択できる、多様な学びの場や居場所の整備

- 多様な「学びの場」、「居場所」を確保し、充実を図ります

- ⑨ 学びの多様化学校の設置(令和11年4月に開校予定)
- ⑨ メタバースを活用した学びの場の整備・運営(令和8年度に整備予定)
- ⑧ 校内教育支援センターの設置・推進
- ⑧ 校外教育支援センターの拡充
- ⑧ 子どもの居場所づくり活動支援
- ⑧ 中高生の居場所づくりの推進
- ⑧ 子どもの居場所創設サポート事業

- 多様な体験や活動ができる機会の充実を図ります

- ⑨ メタバースを活用した体験活動の実施(令和8年度から実施予定)
- ⑧ JAXAや大学等と連携した学習活動の実施
 - ふれあい体験活動の充実

3 児童生徒や保護者に寄り添った相談支援の充実

- 児童生徒や保護者が相談できる体制の充実を図ります

- ⑨ メタバースを活用した相談環境の整備(令和9年度から実施予定)
 - 青少年教育カウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる教育相談の実施
 - 児童支援専任・生徒指導担当・支援教育コーディネーターを中心とする校内支援体制の充実
 - 相談窓口の整備

- 不登校の児童生徒や保護者に対する支援の充実を図ります

- ⑨ 不登校児童生徒の健康診断の実施(令和8年度から実施予定)
- ⑨ 保護者同士の交流の場の紹介・情報提供(令和8年度から実施予定)
- ⑧ 不登校の児童生徒・保護者に対する情報発信の強化
 - スクールソーシャルワーカー等による訪問型支援の実施
 - 思春期児童訪問支援の実施
 - フリースクール等利用児童生徒への支援
 - 「不登校を考えるつどい」の開催

4 関係機関との連携強化による、切れ目ない支援体制の構築

- 市内の連携を強化します

- 学校教育推進協議会の開催
- 不登校対策プロジェクト会議の開催

- 市外との連携を強化します

- ⑨ 子どもの居場所づくり地域連携会議の開催(令和8年度から実施予定)
 - 不登校対策検討委員会の開催
 - コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

児童生徒の皆さんへ

「全ての子どもが将来に夢や希望を持ち、自分らしく健やかに成長できる」

これは、私たちがとても大切にしていることです。

その実現のために、皆さんが安心して「行ってみたい」と思える学校を目指しています。

もし、学校に通うことが不安になったり、苦しくなったりしたときでも、

皆さんは一人ではありません。皆さんの周りにはたくさんの味方がいます。

困った時に誰かに相談できること。

学校に行くのが苦しくなっても、誰かと安心してつながれる場所があること。

自分のペースに合った学習をする場所があること。

私たちは、色々な場所を用意して、皆さんが未来を描けるように力を尽くします。

保護者の皆さまへ

お子さまが学校に通えなくなったとき、保護者の皆さまもとても悩み、苦しんでおられるものとお察しします。

私たちは、誰一人取り残さない学びを保障するため、一人ひとりの状況に合わせた多様な学びの場や居場所を確保していきます。

また、保護者の皆さまが必要としている情報の発信や、保護者同士が悩みを共有し、懇談する場の開催など、皆さまに対する支援も充実させていきます。

誰一人取り残さない社会を目指し、私たちが見守り、寄り添い、支えていきます。

市民の皆さまへ

少子化の進行により令和6年度の本市の児童生徒数が48,632人にまで減少する中、不登校の児童生徒数は増加傾向にあり、小中学校等104校全体で過去最多の2,084人となりました。

この状況は本市にとって喫緊の課題であり、

今般、不登校対策に関する施策を総合的に推進するための「アクションプラン」を策定しました。

学校へ通うことに不安や負担を感じることは、決して特異なことではなく、

誰にでも起こり得ることです。

様々な理由から学校へ行かないことを選択したとしても、社会とのつながりを途切れさせず、全ての子ども、そして保護者の皆さまが、安心して未来を描けることが重要です。

私たちは一丸となり、対策に取り組みます。

相模原の子どもたちのため、皆さまのお力をお貸しください。